

演題

増え続ける膵がんの 診断と治療 ~up-to-date

2025
3/21
金

※来場型開催



講師

消化器内科 / 臨床腫瘍科
教授 祖父尼 淳 医師

近年、膵がんは日本でも増加しており、50年前の10倍以上となっております。TVでも著名人の膵がん報道を耳にすることが多くなりました。膵がんは診断技術の進歩にもかかわらず、いまだ約70%以上が切除できない状態で発見される予後不良の難治がんです。切除ができない膵がんの治療法としては、化学療法（抗がん剤治療）を中心とした治療がおこなわれていますが、いまだ満足しうる成果が得られていないのが現状です。そのような状況下で、膵がんに対する予防や早期発見・診断、そして早期治療が重要なことは言うまでもありません。また昨今の分子生物学や病理学、医療工学の進歩によって、新たな診断や治療技術も期待されており、個々の患者さんの病状や環境に応じたがん治療（個別化医療）も求められるようになってきました。今回の市民公開講座では、我々が取り組んでいる膵がんの診断や最新の治療についてわかりやすく説明させていただきます。



日時 2025年3月21日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。